

令和2年3月24日

保護者の皆様

調布市教育委員会
調布市立多摩川小学校
校長 安藤 力也

春季休業期間中の対応及び新年度の教育活動の再開について

保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症対策として臨時休校中の取組にご尽力いただきありがとうございます。

さて、3月19日に新型コロナウイルス感染症対策についての専門家会議において、「感染状況が確認されていない地域では、学校における様々な活動や、屋外でのスポーツやスポーツ観戦、文化・芸術施設の利用などを、適切にそれらのリスクを判断した上で、感染拡大のリスクの低い活動から実施してください」との見解が示されました。

これを受けて、調布市教育委員会から、「3月23日現在において、『市内在住者及び教職員による感染者が確認されていない』ことから、感染症の拡大防止対策をとり、4月1日以降の教育活動を順次再開する予定」との方針が示されました。

ただし、従来の長期休業とは異なり、緊急対応として長期に渡った臨時休校としたことから、春季休業期間中であっても児童の実態を丁寧に把握し、新年度の教職員に確実に引き継ぎたいと考えています。そこで、本校におきましては、下記の方針に基づいた取組を行ってまいりますので、ご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

記

1 春季休業期間等における対応について

(1) 児童の実態把握について

- ・修了式・卒業式に欠席した場合等、必要に応じて適宜保護者に電話連絡し、臨時休校中の児童の様子について聞き取りを行います。
- ・臨時休校中の児童の様子で気になることや不安なこと等がありましたら、いつでも学校までご連絡、ご相談ください。

2 新年度の教育活動の再開について

(1) 入学式及び始業式の実施について

- ・別紙「始業式・入学式の実施についてのお知らせ」をご覧ください。

(2) 始業式以降の教育活動について

新年度は、進学・進級に伴い学校体制や学級が変わることから期待感が膨らむ一方で、長期休業の影響による不安定な状態が生じる児童がいることも予想されます。そこで、児童の状況を丁寧に把握するために、面談を実施します。また、学校行事等の実施については、十分な感染防止対策を講じて教育活動を進めていきます。

① 児童の心のケアを軸とした学年・学級経営を行います。

- ・臨時休校中及び新年度への生活の不安等によって、登校しぶりになったり、集団生活への不適応を起こしたりと様々な形で表出される場合があります。それらの行動の背景を十分に理解し、学年・学級経営を進めていきます。

裏面へ続きます→

- ② 担任と児童との面談を実施します。
 - ・学級指導の時間を活用し，丁寧に一人一人の児童の状況把握に努めます。
- ③ 感染症拡大リスクの条件を回避していきます。
 - ・国内における警戒レベルが下がるまでは，大規模イベントに類する活動は，「換気の悪い密閉空間」「人の密集」「近距離での会話や発声」の三つの感染症拡大リスクの条件が同時に重なることを回避した上で，順次実施していきます。

3 その他

- ・児童及び保護者等並びに学校関係者に感染者が発生した場合は，その時点で対応が変更となる場合がありますのでご了承ください。